

設計製図講座 受講の皆様へ

過去ご質問のあった内容に対する講師からの回答を記載致します。ご参考下さい。

Q	A
製図板は必ず必要でしょうか？	I P 設計製図試験において、A 2 用紙に1：50の家具配置平面図と透視図が求められます。すべてをフリーハンドで表現することは非常にむづかしいと思われます。そのため平行定規あるいはT定規の使用が必要となりA 2 サイズの製図板が必須になると思います。製図板（A 2）の購入ご検討よろしく申し上げます。JIPAKのI P 試験対策講座（設計製図）においても製図板（A 2）を使用することになります。
パース、透視画がかけませんが、受講可能でしょうか？	パースは描ける人の方が少ないです。講習において基本から始めますので、初心者でも十分対応可能な内容となっています。描けるようにご指導致しますのでご安心下さい。
設計製図講座に使用する色鉛筆はどんな色鉛筆がいいですか？	特にこだわらなくて大丈夫です。例えば市販の18色のものなど。
第1回目の講座に製図板は間に合いません。製図板無しでも受講可能でしょうか？	第1回目の講座には製図板無しでも大丈夫です。受講可能です。
どうしても都合がつかず、欠席する場合は資料等頂けるのでしょうか？	事前にご連絡を頂きやむなくご欠席された場合は、当日講座で使用了資料すべてを郵送させて頂きます。
講座の返金は可能でしょうか？	ご入金頂いています講座費用については開催教室の手配、講師、テキスト、課題または場合により資料の送付等講座にかかる費用としての代金となります。恐縮ではございますがご返金対応はしておりません。ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。